

# 聖陵 Sei-Ryou

2013.3 Vol.16  
盛岡大学聖陵同窓会報

発行者／盛岡大学聖陵同窓会  
事務局／〒020-0183

岩手県盛岡市滝沢字砂込808 盛岡大学内

電話：019-688-5555

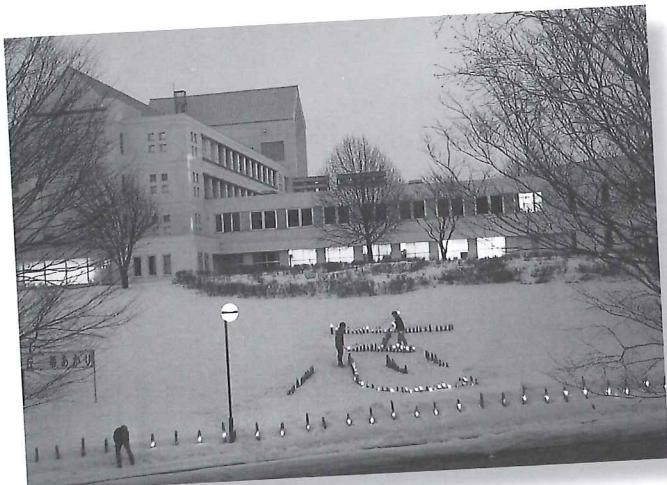
ホームページアドレス

<http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/index.html>

東日本大震災により被害を受けられた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

## CONTENTS

|                 |   |            |          |
|-----------------|---|------------|----------|
| ■ 同窓会長あいさつ      | 1 | ■ 盛大生 活動報告 | 4        |
| ■ 新学長インタビュー     | 2 | ●ストリートダンス部 | ●バレーボール部 |
| ■ さいたま市学校見学を通して | 2 | ■ 事務局便り    | 4        |
| ■ 卒業生は今         | 3 | ■ 決算報告     | 4        |
|                 |   | ■ 編集後記     | 4        |



## 盛大名物「夢灯り」



## 5連覇達成！さんさ踊り



必ず、復興の花が咲く。希望をもって前に進もう。

題字は、先日「3.11」被災地の高田高校を訪問時、廊下の壁に高田高校卒業生で、盛岡大学の学生による、20人もの励ましのメッセージボードの見出しで、この光景を見てみて私自身胸に込み上げる感動でした。佐々木義孝教授のお陰と伺っております。更に陸前高田市とは、以前菊池孝育教授の取り持つ縁にて現在も大学・短大とも学術相互交流締結もあり、大学との絆が深まりつつあります。さて盛岡大学は、2月より徳田新学長のもと新たな1ページを切り開こうとしております。

私達同窓会も、3月卒業の29期生の皆様をお迎えしまして、会員数が1万人を超える迄に至りました。現在、同窓会事業として昨年より、地域支部組織の発足、立ち上げに取り組み、皆様の現在の連絡先を同窓会事務局にて取りまとめしておりますので、調査御協力を何卒お願い致します。

近々には、同窓会名簿発刊の準備を進めたいと思います。職場や、地域、知人が同窓生で繋がっている、こんな光景がありがたく、うれしいなど年を重ねる度、感ずるものです。

夏の盛岡さんにて、5連覇中の現役学生をライバルに奮起する同窓会のドリームさんにて一緒に応援参加したり、秋の聖陵祭にて、同窓生によるホムカミングデーに御来場など、今後共盛岡大学、盛岡大学聖陵同窓会に温かい御支援をよろしくお願い致します。



盛岡大学聖陵同窓会  
会長

菅原 元

同窓会長  
あいさつ

# 徳田 元 新学長 就任インタビュー



## 徳田 元 氏 (66歳) プロフィール

●出身地…愛媛県 ●学位…農学博士

### ●学歴・略歴

昭和 44 年 3 月 名古屋大学農学部農芸化学科卒業  
昭和 49 年 3 月 名古屋大学大学院農学研究科博士課程修了  
昭和 49 年 6 月 日本学術振興会奨励研究員  
昭和 50 年 9 月 米国ロシュ分子生物学研究所研究員  
昭和 52 年 9 月 イリノイ大学博士研究員  
昭和 54 年 4 月 千葉大生物活性研究所助手  
昭和 63 年 5 月 東京大学応用微生物研究所助教授  
平成 7 年 3 月 東京大学分子細胞生物学研究所教授  
平成 16 年 4 月 東京大学総長補佐  
平成 19 年 4 月 東京大学アイソトープ総合センター長兼務  
平成 22 年 4 月 盛岡大学栄養科学部栄養科学科教授  
平成 22 年 6 月 東京大学名誉教授  
平成 25 年 2 月 盛岡大学学長に就任

望月前学長の退任に伴い、平成 25 年 2 月 1 日付で新学長に栄養科学部の徳田元教授が就任されました。

同窓会報を通じて徳田新学長の人となりを紹介するべく、紙上インタビューを行いました。

同窓会へのメッセージもいただいているので、是非ご覧ください。

【Q1】 愛媛県のご出身ということですが、どのような幼少時代を過ごされましたか。

【A1】 愛媛県の宇和島市が出生地です。大学に入る 18 歳まで、ここで過ごしました。

宇和島は伊達藩の城下町で、小さな天守が今も小高い山の上にあります。リアス式の海岸に位置しており、前は宇和海、後ろは鬼ヶ城という山に囲まれた、自然が豊かで、海の幸山の幸に恵まれた所です。子供の頃は、あまり勉強せずに、山や川や海で遊びました。夏は海水浴で真っ黒に日焼けし、背中の皮が毎年大きく剥けました。実家がミカン農家だったために、ミカン畑で良く遊びました。濃い緑の葉と黄色いミカンの対照が、とても目に鮮やかだったことを覚えてます。中学生の頃は、伝馬船と呼ばれる小さな舟を漕いで魚釣りに行つたことがあります。魚はハギと呼ばれる口の尖った魚が良く釣れました。竿で釣るのではなく、船縁から糸を垂らす手釣りです。魚がかかると、強い手応えがありました。

【Q2】 卒業された大学は名古屋大学とお聞きしました。どのような学生でしたか？ また、一番印象に残る思い出を教えてください。

【A2】 大学でも教養課程の時は勉強ませんでした。寮に住んでいて毎晩遅くまで友達と話しこんでいたため、朝起きることができなくてよく遅刻しました。ドイツ語の先生から、あと 1 回遅刻すると単位をやらないと言われ、必死で授業に出た覚えがあります。でも、専門科目の講義が始まると、生物の仕組みに俄然興味が湧き、勉強が好きになりました。でも、専門科目の講義が始まり、生物の仕組みに俄然興味が湧き、勉強が好きになりました。



私は、2月8日にさいたま市の学校見学に参加させていただき、盛岡大学卒業生である白土祐介先生の職場の鈴谷小学校へお邪魔してきました。2年先輩の白土先生の働いているところや、さいたま市の子どもたちの様子を見ることができるということで、この日を長くして待っていました。

午前中は、各クラスに授業補助として入るということで、私はグラウンドで 6 年 1 組のソフトバレーボールを行いました。晴れてはいたものの、風は冷たく長袖でも寒いくらいでした。子どもたちはそんなことはお構いなしに半袖半ズボンで元気いっぱい楽しそうにソフトバレーを行っていました。各チームで考えた「○○さんは得点 2 倍」などというeruleを利用して、工夫したゲーム展開になっていました。得点が入るとみんなで喜び、失敗してもみんなで声を掛け合つて沢山コミュニケーションをとっている姿が印象的でした。

午後は、さいたま市の教育プログラムの特徴の一つである「人間関係プログラム」を白土先生のクラスである 5 年 2 組の子どもたちと一緒に行いました。このプログラムは、コミュニケーションを多く取り、人ととの関わり合いを大切にすることでお豊かな人間関係を築くことができるよう、取り入れられたものであります。5 年 2 組の子どもたちはこの日が初対面でしたが、プログラムの中の「自己紹介カード」や「探偵ごっこ」を通して、自然に楽しんで会話をすることができます。子どもたちと白土先生の話をしてみたところ、先生は面白くて、大好きなのでこのクラスで良かったと教えてくれました。

学校見学を通して、改めてさいたま市で教員生活をすることが楽しみになりました。コミュニケーションを大切にしていく教育を通して、子どもたちとも保護者とも、先生方ともよりよい関係を築き、信頼される教師になれるよう努めています。遊び多き 1 日を過ごすことができ、本当に貴重な体験ができました。ありがとうございました。ありがとうございました。

## さいたま市学校見学を通して

(平成二十五年四月からさいたま市教員)  
児童教育学科 4 年 佐藤 葵

きになりました。結局、大学院に行きたいと思うようになり、博士課程まで行つたので、10年近く名古屋大学にいました。今では想像もできないでしょうが、当時は大学紛争が起き荒れていきました。名古屋大学も例外ではなく、本部に機動隊が突入して学生を排除したことがあります。あの時代は何だったのかと、時々思うことがあります。

**[Q3]** 少し硬い話も。専門は微生物生化学のことですがどのような研究をしてこられたのでしょうか。

**[A3]** タンパク質は細胞の中で合成された後、細胞の中、あるいは細胞の外の、別の場所に移動するよう運命づけられたものが沢山あります。岩手県で収穫したリンゴを、東京や大阪や、九州にまで運ぶことを考えて下さい。宅配便には、行き先を示すバーコードがついています。タンパク質も、実はバーコードがタンパク質自身の中に隠されているのです。細胞には、そのバーコードを読む仕組みと、バーコードに従つてタンパク質を運搬する機構があります。どの様なバーコードをどの仕組みが読んで、どの様な機構で運搬するかが、私が研究を始めた頃は、良く分かつていなかつたのです。その頃、世界中の研究者がこの問題に興味を持つて研究を開始しようとしていました。すべての生物に存在する「タンパク質局在化機構」の研究を、私は研究手段として大腸菌で始めたのです。研究対象は少しずつ変わっていますが、「タンパク質局在化機構」を大きな研究テーマとして、今も研究を継続しています。

**[Q4]** 盛岡大学、学生に対してもどのような印象をお持ちですか。

**[A4]** 学内で学生と出会うとよく爽やかな挨拶をされます。東京では滅多に経験しません。

**[Q5]** どのような学生を送り出したいとお考えですか。

**[A5]** 東日本大震災に負けない東北魂をもつた強い学生を社会に送り出したいと願っています。日本の将来にとって、震災復興は極めて重要です。復興は、これから社会に出る学生に大きく依存していると思います。

**[Q6]** 最後にあります。1万名にちがつく盛岡大学の同窓生へのメッセージをお願いします。

**[A6]** 盛岡大学は、既に社会で活躍している先輩に続き、優秀な後輩を育成しています。後輩に助言と支援をお願いします。また、大学に来ていただき、社会での体験談など話していただければ、後輩にとって大変ありがたいと思います。「盛大ネットワーク」のような組織ができれば良いと考えています。

## 関わり合い学校

日本文学科 平成3年度卒業  
天野桂一

私の現職は天職です。振り返ると学生時代の経験や多業種に携わったことも総て繋がっており、無駄は全くありません。私の周りには常に仲間がいて今も昔も変わらずにいます。

星槎グループは関わり合いを重んじており、3つの約束「人を認める。」「人を排除しない。」「仲間を作る。」は、将来子どもたちが共生社会で生き切るための最低限守るべきルールです。簡単のようでは実はとても難しいけれど、皆様は守っていますか？

私たち星槎人（職員）は常に「子どもたちのために何が出来るか」を考え行動しています。必要としているものは何か、人なのか、物なのか、環境なのか…を。困難に助太刀をするのではなく、一緒に学び、喜び、笑い、涙し、誰かのために行動出来る人の育成を目指しています。星槎は興味を持ったその日から関わり合い続けています。今も尚、沢山の仲間を募集中です。

### ●星槎グループ

学校法人国際学園

星槎大学 郡山学習センター地域相談室長

星槎国際高等学校 郡山学習センター長

NPO法人 星槎教育研究所 郡山相談センター長

支援教育カウンセラー



## The smiling face for everybody's smiling face 【みんなの笑顔のための笑顔】

社会文化学科 平成23年度卒業  
田村一晃



盛岡大学を卒業した時の私の夢は中学校（社会科）の教師になることでした。

私は今、青森県の八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校で事務員として働いています。学校は教員が授業をする場所というイメージが誰しもあると思います。しかし、その教員が授業を教えることに集中できるように、学校経営や事務処理などで支えることが事務員の職務だと私は感じています。

そんな私にも仕事をする上で心がけていることがあります。それは、「笑顔」です。誰かにとびっきりの笑顔で「おはようございます」と挨拶されたら、あなたは「笑顔」になりませんか？笑顔まではいかなくても、嬉しい気持ちにはなりませんか？だからこそ、私はどんな時でも「笑顔」でいようと思っています。

『中学校学習指導要領解説社会編』には、社会的事象を多面的・多角的に考察する力の必要性が説かれています。社会人として、働く者として、仕事を多面的・多角的に考察する力が求められています。社会科の教員になるという夢が、今の職場で、学校を、教員を支えていきたいという今の私の夢につながっています。

# 盛大生 活動報告

## ストリートダンス部 『Free Style』

児童教育学科 3年  
七木田 晴香



私たちストリートダンス部 Free Style は、毎週木曜日に 1~4 年生の約 40 名で楽しく仲良く活動しています。

Free Style は以前まではサークルとして活動していましたが、先輩方の活躍等のおかげで二年ほど前からサークルから部活に昇格をすることができました。部になったことで部費などももらえるようになったことから活動もしやすくなりました。

学校内のイベント等には毎回出演させていただいたり、ゲリラライブなどを行ったりとたくさんの方々に見ていただけた機会も増えました。学校外の活動としては毎年 12 月に行われる岩手県内 3 大学合同の JOY-INT という大きなイベントがあり、学生だけで作り上げ、ダンスなどを通して他大学との交流を深めることはもちろん、学生の頑張っている姿をいろいろな方々に見て頂こうと活動しています。

また、各大会にも出場し入賞しているチームや、各イベント等で活躍しているチームもいます。このように充実した活動ができるのも、先輩方がこの Free Style を築き上げてくれたおかげだと思っています。今後も先輩方のような、また今まで以上の活動、活躍ができるように活動の場を広げるなどをして、全員で頑張っていきたいと思いますので応援よろしくお願ひします。

ダンスを通してたくさんのこと学び、Free Style の仲間とともに充実した学生生活を送っていきたいと思います。

## バレーボール部 『バレーボールを通して』

栄養学科 3年  
小野寺 美沙



私たち女子バレーボール部は、現在、部員や千葉智行先生、そして多くの卒業生の皆さんに支えていただきながら活動しています。大体は中学や高校の時に、バレーボール部に所属していた子が所属していますが、そうではなかった子もマネージャーとして所属しています。そして、部の雰囲気や部員同士の仲も良く、バレーボールを通して、人間関係の構築や礼儀なども学んでいます。そのお陰もあって、卒業した先輩方ともいい交流をさせてもらっています。

活動内容は、練習はもちろん、リーグ戦や天皇杯などに出場しています。試合をするごとに反省点や今後の課題が出てくるので、そこを改善できるように部員と話し合ったり、練習に励んでいます。中学や高校と違って、自分たちで練習メニューを考えたりすることが多いので、そういう点でも勉強になっています。

近年では、カナダ遠征をし、カモソーン大学のバレーボール部の皆さんと試合をし、交流することができました。最初は言葉が通じず、うまくコミュニケーションをとることができませんでしたが、段々とコミュニケーションをとれるようになって、楽しい時間を過ごすことができ、バレーボール以外でもいい経験になりました。

他の部活動もそうですが、バレーボール部では人間関係や礼儀なども学べて、自然と身に付きます。これは、これから社会に出てるために大切なことなので、後輩のみんなにも大切にしてもらいたいです。

## 平成 23 年度 聖陵同窓会決算報告 (平成 23 年 4 月 1 日~平成 24 年 3 月 31 日)

### 収入の部 (単位:円)

| 項目       | 予算額       | 決算額       |
|----------|-----------|-----------|
| 入会金      | 1,500,000 | 1,495,000 |
| 終身会費     | 3,050,000 | 2,990,000 |
| 雑収入      | 100,000   | 15,512    |
| 特定預金取崩収入 | 0         | 0         |
| 計        | 4,650,000 | 4,500,512 |
| 繰越金      | 1,072,706 | 1,072,706 |
| 合計       | 5,722,706 | 5,573,218 |

### 支出の部 (単位:円)

| 項目       | 予算額       | 決算額       |
|----------|-----------|-----------|
| 事業費      | 1,750,000 | 1,644,399 |
| 事務費      | 50,000    | 2,268     |
| 通信費      | 700,000   | 617,440   |
| 会議費      | 50,000    | 3,607     |
| 慶弔費      | 100,000   | 40,080    |
| 旅費交通費    | 50,000    | 5,000     |
| 財政基金繰入支出 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 計        | 5,700,000 | 5,312,794 |
| 繰越金      | 22,706    | 260,424   |
| 合計       | 5,722,706 | 5,573,218 |

事務局便り

事務局だよりを書いているこの週末、日本列島はこれまでない寒波に襲われた 많은尊い命を失い、生活にも大きな影響を受けました。会員の皆様がご無事であることをお祈りしています。

この欄でも何度か話題とし、また役員会でも検討してきた支部についての規程が 2 月 23 日(土)に同窓会名譽顧問である太田稔学校法人盛岡大学理事長をお迎えして開催された役員会で了承され、よいよ本格的に支部会活動が動き出します。お待ちになっていた会員の皆様もいらっしゃると思いまます。できるだけシンプルな内容とし、たくさんの支部が各地でできネットワークでつながっていけるようになります。近日中に申請書などホームページからダウンロードで書きるようにしたいと思います。請求があれば郵送もいたします。

役員会では太田稔名譽顧問から様々な援助への感謝の言葉とともに、盛岡大学がこれからも未来に向かって進んでいくためには同窓生の皆さんとの協力と活発な活動が何よりも大事、とお話をいただきました。この支部活動を活かして母

英米文学科(現英語文化学科)  
教授 清水一雄先生(昭和 56 年 4 月~平成元年 3 月在籍)が先日逝去されました。本学を退職された後も研究を続けられ、近況を聞きしていました。また、児童教育学科平成 22 年度卒業の大和田愛実さんが平成 25 年 1 月に急逝されました。あさひ幼稚園で教諭をされていました。お二人の御冥福をお祈り申し上げます。

### 訃報



太田 稔 名譽顧問

校の声にも大いに応えていきたいと思います。

## 編 集 後 記

### 編集委員

吉田典子(第 2 期生) / 三戸淳一(第 4 期生) / 川村匡世(第 4 期生) / 藤澤弘樹(第 9 期生) / 佐藤大裕(第 17 期生) / 高橋有起子(第 19 期生) / 上條尚樹(第 20 期生) / 吉田智子(第 20 期生) / 川田彩乃(第 25 期生) / 佐々木 啓(第 28 期生)

第 16 号の編集委員は、2 期生から 28 期生にわたる 10 名でした。親子ほどの年の差にも関わらず、チームワークを難なく組めるのは、盛岡大学の卒業生の伝統でしょうか? これからもスクラム組んで皆様からの御意見を反映した会報を作成していきます。応援よろしくお願ひいたします。